

エコフレンドリーオフィスプラン通信

第9号
発行日：令和7年7月11日
発行元：環境政策課
責任者：課長 末永 しのぶ



山口市役所の温室効果ガス排出抑制に係る対策を具体的に実行するための計画である「第二次山口市エコフレンドリーオフィスプラン改定版」で定めた令和6年度の温室効果ガス排出量の削減目標は、皆さんのご協力のもと達成することができました。



令和6年度の実績結果

令和6年度の実績目標	実績結果
平成25年度比で31%以上	31.1%削減

令和7年度マネジメントレビュー（環境管理統括者からの指示及び対応）

「令和7年度山口市環境管理委員会」において、環境管理統括者（市長）からマネジメントレビュー（市長からのプラン見直し指示）が、下記の通り示されました。

1 環境方針について

第二次エコフレンドリーオフィスプラン改定版における環境方針に基づく事務事業の推進に努めること。

2 取組目標について

2050年ゼロカーボンシティ実現を見据え、第二次エコフレンドリーオフィスプラン改定版における温室効果ガス排出量の削減目標達成に向け、3つの環境方針（「省エネルギー等の推進」、「再生可能エネルギー等の導入推進」、「脱炭素なまちづくりの推進」）の下、同プランに示されている重点項目を各所属の重点取組項目とするなど、各所属で設定した独自の取組の積極的な推進を図ること。

3 プランに関するその他の要素について

職員一人ひとりが、環境負荷の低減や地球温暖化問題への理解を深めるとともに、日々の業務の中で、脱炭素につながる豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」の取組を積極的に実行すること。

マネジメントレビューへの対応として、下記の点について取組を進めましょう。

1 環境方針について

職員研修や職場研修等を通じて、環境方針を始めとするプランの内容の周知徹底を図り、同方針に基づく事務事業の推進に努めましょう。

2 取組目標について

全庁共通の環境配慮項目の周知や実践に加えて、各所属で設定した重点取組項目などの独自の取組の積極的な推進を図りましょう。とりわけ、市施設への再生可能エネルギーの導入に向け、地域新電力会社「山口グリーンエネルギー株式会社」を介した清掃工場の廃棄物発電の活用に向けた取組を推進するほか、省エネ設備・機器の導入に向けた取組に努めましょう。

また、各所属において、プランに掲げる共通の環境配慮項目を共有した上で、各所属の業務の特性に応じた目標設定や数値を可視化するなど、各所属で実施された優れた取組を参考事例として、庁内へ周知するなど、職員一人ひとりの環境意識の向上に向けた取組の実施しましょう。

3 プランに関するその他の要素について

職員研修や、本市におけるデコ活の周知啓発の取組を通じて、職員一人ひとりが環境負荷の低減や地球温暖化問題に対する理解を深め、環境への意識向上やデコ活の実践に努めましょう。

「デコ活」で暮らしを豊かにしながら環境にやさしい生活を！

本市では、令和6年1月にデコ活宣言を行い、デコ活を通じて、「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組んでいます。

デコ活とは、暮らしを豊かにしながら、「CO₂を減らす・環境にやさしい活動」のことです。「もっと節電しなければ」などと我慢するのではなく、環境にやさしい商品・サービスを生活に取り入れることで、脱炭素なのに快適で健康的な生活を実現していこうという取組です。「省エネ機器に買い替える」、「エコドライブする」、「食材の地産地消に取り組む」など、身近な生活の中ではもちろん、職場でも、未来のために今できるデコ活を積極的に実践していきましょう。



デコ活の詳細はこちら →



環境政策課のSNSも
チェックしてみてください →



Facebook



Instagram